

新たな地平を切り拓く ～男女ともに活躍できる社会～

CONTENTS

活躍が期待される背景	
少子化	女性のさまざまな生き方を支援することで少子化の克服を…2 中部学院大学短期大学部教授 林陽子
ワーク・ライフ・バランス	個人も会社も成長するワーク・ライフ・バランス……………4 株式会社東レ経営研究所代表取締役社長 佐々木常夫
活躍が期待される新たな分野	
防災	防災・復興に女性がかかわる意義……………6 神戸大学経済経営研究所准教授 相川康子
環境	しなやかにエコスタイルを創る女性たち……………8 環境省中部環境パートナーシップオフィスチーフプロデューサー 新海洋子
科学技術	女性科学者のさらなる活躍を期待して……………10 愛知大学副学長(教学担当) 功刀由紀子
海外の先進事例	進む政策方針決定への女性の参画～ノルウェー～……………12 愛知県県民生活部男女共同参画室長 岩田敏子
結びに	女性の発想と実践によって切り拓く男女共同参画の新たな地平…14 監修/日本福祉大学社会福祉学部教授・社会福祉学部長 後藤澄江
参考資料	データに見る 女性の参画……………16

はじめに

少子高齢化が進み、本格的な人口減少が見込まれる中、女性の力を活かすことは、活力ある社会を築くための大きな鍵となっています。特に、様々な意思決定の場面への女性の参画は、多様な視点を導入し、新たな発想を取り入れていく上で大変重要です。

国においては、「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度」という目標に向けて、取組が進められてきました。しかし、企業などの管理職に占める女性の割合は依然として低く、医師、研究者などの専門職についても、女性の割合は増加しつつあるものの、仕事と生活の両立が依然として困難な職場環境となっているなど、課題を抱えています。

そこで、平成20年4月に「女性の参画加速プログラム」が策定され、あらゆる分野における女性の参画加速のための基盤整備と、活躍が期待されながら女性の参画が進んでいない分野への重点的な取組が行われているところです。

県においても、平成18年10月に改定した「あいち男女共同参画プラン21」で、「県の審議会等に占める女性委員の割合を平成22年度末までに35%にする」という目標を掲げ、政策・方針決定過程への女性の参画を進めるほか、「女性のチャレンジ支援」を重要課題の一つに設定し、意欲と能力のある女性が社会で活躍できるよう、様々な取組を行っています。さらに、「防災(復興を含む)」、「環境」などの新たな分野への男女共同参画の推進を図っています。

本冊子では、少子化、ワーク・ライフ・バランス、新たな取組を必要とする分野における地域課題などを、男女共同参画の視点で捉え紹介しています。直面している課題の解決に向けて、女性の活躍の必要性を広く皆様にご理解いただくとともに、さまざまな場で政策・方針決定過程への女性の参画を加速していくことが重要であると考えており、本冊子が一助となれば幸いです。

平成21年2月

愛知県知事 神田喜秋